

ロータリーを語り合う例会

ロータリー財団について (川窪ロータリー財団部門長)

ロータリー財団への寄付：ポリオプラス基金、年次基金、恒久基金、地元の人からの寄付
 ロータリー財団 寄付者の認証：「財団友の会」会員、ポール・ハリス・フェロー、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、メモリアル・ポール・ハリス・フェロー認証状、ポール・ハリス・ソサエティ、感謝状、ベネファクター、遺贈友の会、メジャードナー、アーチ・クランフ・ソサエティ
 ロータリー補助金：地区補助金、グローバル補助金

ポリオプラスについて (武井会員)

ポリオ(急性灰白髄炎)はウイルスによって引き起こされる感染力の強い疾患、主に5歳未満の小児が罹患する。水、食べ物を介した経口感染。感染者200人のうち1人に不可逆性の麻痺が起こる。麻痺を起こした患者の5~10%は呼吸筋麻痺で死亡する。ポリオの治療法はなく、ポリオワクチン接種による予防が重要とされている。世界ポリオ撲滅活動は、国際ロータリーが中心となり、世界保健機構(WHO)、ユニセフ、各国政府等連携して推進している。

1985年2月、ロータリー創始80年にRIはポリオ・プラス計画を発表する。プラスとは、はしか、ジフテリア、破傷風、百日咳、結核の5つの病気を指し、ポリオだけでなく、これらの病気も含め予防接種を実施することになり、ポリオ・プラス計画と改称された。

☆ポリオ撲滅宣言

- 1994年：汎米(北・中・南米)地域で最初のポリオ絶滅宣言。
- 2000年：WHOにより西太平洋地域に2番目にポリオ絶滅宣言。
- 2002年：ヨーロッパ地域でのポリオ絶滅宣言。
- 2014年：東南アジアでのポリオ絶滅宣言。

今村研修・広報部門長によるまとめ

ロータリー財団について=1917年、国際ロータリーのアーチ C.クランフ会長が世界で良いことをするための基金を設けることを提唱したことからロータリー財団がスタートし、今年度で100周年にあたる。財団はこれまで、健康や教育の分野で大きな役割を果たしてきた。私たち鹿児島南 RC が進めてきた「児童虐待防止シンポジウム」もこれまで100万円余りの補助金を財団から受けてきた。私たちにとって大事なことは、その意義を考えて財団に寄付をし、そしてそれを有効に活用することだ。

ポリオ・プラスについて=国際ロータリーは1985年にポリオ・プラス計画を発表した。中でもポリオ撲滅はロータリーが中心となりながら、世界的な目標となった。ポリオの発症は今や地域に限られてきているものの、野放しにすると、また広がっていく怖れがあり、ロータリーは最後の詰めを担っている。ワクチン接種のためには多額な費用がかかる。ぜひ会員の皆さんも関心を寄せてほしい。



●ホームクラブ出席率 80%を目指しましょう!

出席報告	第 2822 例会	第 2820 回訂正
会員数	40(36)名	40(36)名
出席数	21(19)名	30(28)名
出席率	55.26%	78.95%

●今後の予定

12/7(水)	年次総会
12/14(水)	ロータリーを語り合う例会 (職業奉仕・奉仕理念)
12/21(水)	クリスマス家族会

市内ロータリークラブのプログラム

★印は例会場ないし例会時間変更

RC	例会日	プログラム	例会場	RC	例会日	プログラム	例会場
東	12/1(木)	★忘年会 18:30	サンデイズイン鹿児島	東南	12/6(火)	クラブ総会	サンロイヤル
北		年次総会	レゾナント鹿児島	城西		会員卓話	東急REI ホテル
サザン		年次総会	東急REI ホテル	西	12/7(水)	クラブフォーラム	山形屋
鹿児島	12/2(金)	外部卓話 (株) コアース土井様	山形屋	西南		クラブフォーラム	ゆうづき
中央	12/5(月)	職業奉仕フォーラム	山形屋				